

## 2014年度第1回執行理事会議事録

期 日：2014年6月7日（土）13:00～17:00

場 所：地質学会事務局

出席者：井龍会長 山本副会長 齋藤常務理事 ウォリス 海野（1時間ほど遅れ）緒方 杉田 竹内 中澤 廣木 保柳

（1時間半ほど遅れ）松田

欠席者（委任状提出あり）：渡部副会長 坂口 平田 星 山路

前期執行理事：石渡 伊藤 西 山口

\*定足数（12，委任状含む）に対し，出席者13名，委任状 4名，合計175名の出席。

\*前回議事録の承認・・・承認された

### I 審議事項

1. 新旧の引き継ぎ，懸案事項の確認  
自己紹介を兼ねて役割分担の確認を行った。
2. 総会議事録の確認について  
議事録案を回覧し，確認した。
3. 「一家に1枚」ポスター企画募集への応募について  
（6/23）  
前回の提案，テーマ地質災害は良い評価だったので，同様のテーマをブラッシュアップして出すこととする。担当は，広報部会。
4. 国際交流関係
  - 1) 鹿児島での津波シンポジウムの海外参加者の招聘について  
津波シンポジウムと巡検に招聘する。協定を結んでいる学会（タイ，モンゴル，韓国）に声をかける予定。
  - 2) SKGB (Sasakawa GB) の援助金の使い方について  
90万円/年，3年間が当たった。本年はイギリスの専門家3名の招聘に使うほか，巡検費用の補助に使う予定。来年はイギリスでのシンポジウムで使う。再来年は未定。  
イギリス，タイ，韓国等からの代表者の招聘は地質学会の負担で行う（60万程度）。モンゴルの事情については，石渡理事（前会長）に聞く。  
以上を承認し，ロンドン地質学会とはウォリス理事（国際担当）が交渉を進める。
5. 各県の岩石・鉱物・化石に関するアクションプランの作成  
化石も入れた試案を作ってみた。各自治体で既に決めていないか，希望があるかを確認するアンケートを行う。年内に決めて，書き始めるくらいのスケジュール。担当は保柳理事（企画出版担当）とする。
6. 理事会議事録案  
修正があったので再度理事に回して確認する。

### II 報告事項

#### 1. 全体的報告

・地学協会倫理綱領の件

地質学会の倫理綱領流用の件は先方で協議中。6/14に決まる予定。

#### 2. 運営財政部会：総務委員会（緒方）

<共催・後援依頼，他団体の募集等>

1. 日本地球化学会より，2014年度年会（9/16-18，富山大学）の共催依頼→承諾
  2. 新潟大学学術情報基盤機構旭町学術資料展示館より企画展示「新潟のジオパーク展—糸魚川と佐渡の魅力」（7/124～8/29）の後援依頼→承諾
  3. 尾瀬保護財団より「第187回尾瀬賞および尾瀬奨励賞」の募集（4/1-8/31まで）→News誌，HP，geo-flashに掲載
  4. 平成27年度文部科学大臣表彰科学技術賞および若手科学者賞受賞候補者の推薦（6/7/17，学会，6/6/30）→HP，geoflash掲載  
・学会としてはぜひ候補者を出したい。周囲に積極的に呼びかけて推薦をしてほしい。
  5. 筑波大学「科学の芽賞」（地質学会後援）作品募集案内
  6. 日本水環境学会より「第23回市民セミナー：黄砂と共に飛来する越境化学物質—水環境と健康に対する影響を考える」（8/8）および「第17回シンポジウム」（9/8～10）の案内
  7. 三浦半島活断層調査会より地質の日記念「城ヶ島観察会」の報告
  8. NGOアースウォッチジャパン（理事長浦辺徹郎）より，日本の自然環境や独特の風土に根差した調査研究を支援するため（一般人のサイエンスボランティア派遣），野外調査プログラムの募集案内→News誌，HP，geo-flashに掲載
- <その他>
1. 学術著作権協会より電子著作物の複製等に関する権利委託についての検討要請があり，説明会等も開催されている。地質学会として検討のうえ，返答を要するが，返答の期限は特になし。協会からQ&Aなどが公表されるのを待って対応を決める予定。
  2. JABEEより，2014年度総会報告あり。
  3. 石油技術協会より，新役員の挨拶，会長小鷹 長，副会長 井上久隆・木村 健
  4. 千葉県（環境生活部）より地質職の採用（2名程度）募集案内（5/30-6/219）
- <会員>
1. 今月の入会者（12名）  
正会員（5名）：成田敦史，東野文子，中川正二郎，山崎芳樹，福本徹之  
正〔院割〕会員（7名）：寺田昂世，丸茂春菜，大

江健太郎, MATEEN Tayyaba, 山縣宏紀, 古角晃洋,  
飯田 始

2. 今月の退会者 正会員 (1名) : 田中基義

3. 今月の逝去者 (名誉会員 1名) :

亀井節夫 (2014/5/23)

4. 5月末日会員数

賛助:27, 名誉:65, 正会員:3,740 (正会員:3,626,  
正会員 (院割) :106, 正 (学部割) 会員:8) 合  
計 3,832 (昨年比-47)

### 3. 広報部会 : 広報委員会 (坂口・松田)

- ・ジオルジュ2014年度2号編集準備開始
- ・ジオルジュ1号の博物館の記事への矢島理事からのコメントについては, 坂口理事から回答した。

### 4. 学術研究部会 (ウォリス・竹内・中澤)

(1) 行事委員会 (竹内)

- ・鹿児島大会ほか  
講演の申し込みが始まった (7/1締切). 6月中旬から参加登録・巡検申し込みが始まる。
- ・2015. 9. 11-13信州大 (長野) (中部支部), 2016日大 (関東支部) の後を決める時期にきている. 2017年は近畿・四国支部の対応, 2018年は東北・北海道支部 (125周年の年).

(2) 国際交流委員会 (ウォリス)

この数年間の年会で国際シンポジウムをやってきた。来年の信州でも行う予定。  
海外の参加者が増えると自治体からの補助金にも関わるので頑張ってみる。

(3) JIS, 標準担当 (中澤)

改訂版を出すと共に, これまでの経緯を紹介する記事を作る

### 5. 編集出版部会 (山路・海野・保柳)

(1) 地質学雑誌編集委員会 (山路)

- 1) 編集状況報告 (6月5日現在)
  - ・2014年投稿論文 総数40編 [総説2 (和文2)・論説20 (和文20)・ノート1 (和文1)・報告5 (和文4・英文1)・口絵3 (和文2・英文1)・巡検案内9]
  - ・査読中 29編 受理済み 11編 (うち特集号3案内書7)
  - ・120巻5月号: 論説2 (約30頁, 6/3発送済み)

・120巻6月号: 総説1・論説1 (約40頁, 校正中)  
地質学雑誌に対する要望がニュース誌に掲載された。編集委員会には連絡しておく。

(2) アイランドアーク編集委員会 (海野)

・編集状況報告

2 013年は825p契約のところ563pで, 震災以降のページ数の減少から回復できていない。

(3) 企画出版委員会 (保柳)

・箱根たんけんマップの増刷

現在修正点の確認中。初刷は3000部で販売には7年かかった。修正を早急に済ませて7月中旬までに2000部印刷する予定。

・長瀬のたんけんマップは査読中。

・その他, 出版社からの出版予定で滞っているものについて, 整理, 検討中。

海洋底調査の基礎 (安間ほか, 共立出版) ・・2009で中断。今後の出版に向けては編集の建て直しと構成の再検討が必要。編集者と企画出版とで検討の予定。

地質用語集 (水野ほか, 共立出版)。2007ころから中断。今後については, 編集関係者と企画出版とで検討の予定。

### 6. 社会貢献部会 (平田・杉田・廣木)

・街中ジオ散歩「下町低地の地盤沈下と水と暮らし」の実施報告

今回は25名参加, 歩行距離8kmほど, 時間もオーバーして18時までかかったが, 参加者の感想は, 好評だった。ジオ散歩の案内書をまとめて出版することも考える。

### 7. ジオパーク支援委員会 (天野 (委員長)・高木 (JGC委員))

支援委員会の体制についても考える必要が出てきている。執行理事会担当平田理事も委員会の参加してもらおう。

以上

2014年7月12日

一般社団法人日本地質学会執行理事会  
会長 (代表理事) 井龍康文  
署名人 執行理事 斎藤 眞